

2026年6月9日  
じゃこ丸パーク津田  
穴吹エンタープライズ株式会社

## 空いている昼間のレストランを地域体験イベントへ 地域おこし協力隊とじゃこ丸パーク津田が共創!! 親子向け「うどん屋 GAMAMA 幻のレシピ」開催

穴吹エンタープライズ株式会社(本社:香川県高松市、代表取締役社長:三村和馬、以下、当社)が運営する国民宿舎松琴閣 じゃこ丸パーク津田(総支配人:中村芳孝)は、さぬき市地域おこし協力隊として活動するダンサー・振付家・柿崎麻莉子氏が企画する親子向け体験イベント「うどん屋 GAMAMA 幻のレシピ」の開催に協力し、6月28日レストラン「アクアベル」を会場として提供いたします。本取り組みは、レストランの昼間時間帯を活用し、地域交流や、学び、体験できる場づくりを目指す**新たな試み**です。

### 【背景・課題】

じゃこ丸パーク津田では、宿泊施設だけにとどまらず、レストランや貸会場の運営、シーカヤックなどのアクティビティを通じ、施設の魅力を発信してきました。近年はさらに、地域との連携を深め、交流や学びが生まれる拠点としての役割も担っています。

その一環として今回着目したのが、レストラン「アクアベル」の新たな活用です。同レストランは宿泊者向けの朝食・夕食提供を中心に営業しており、日中は予約利用が主となっています。瀬戸内海を一望できるこの空間を、食事の場としてだけでなく、地域文化や創造的な体験を楽しむ場として活用できないかと考えました。そこで、さぬき市地域おこし協力隊として活動する**柿崎麻莉子氏**と連携し、香川県を代表する食文化「讃岐うどん」をテーマにした**親子向け体験イベント**を開催します。



### 【イベント内容】

空海が雨の少ない香川県でも育てられる小麦や製麺技術を唐から持ちかえり広めたといわれる讃岐うどん。その歴史をインスピレーションに制作した本作は“幻のレシピ”を発見するところから始まります。幻のレシピを解読し、そこに記された工程を“小麦粉遊び”や“うどん踏みダンス”など親子で楽しみながら体験。小麦粉が少しずつ形を変えて“うどん”になり、最後には実食もできるという、食の不思議を感じられる内容です。目の前に広がる穏やかな海の景色を感じながら、海を越え、時代を越えたうどんの物語と出会います。また、会場では、**佐藤公哉氏**による生音と歌声の演出が、参加者の聴覚と視覚に心地よく働きかけ、うどん作りの時間をより印象深い体験へと広げます。



じゃこ丸パーク津田は、今後も地域と連携し、施設の新たな価値創出に取り組んでまいります。

### ■ 「うどん屋 GAMAMA 幻のレシピ」

【日 程】2026年6月28日(日)

【時 間】13:00~15:00

【開催場所】じゃこ丸パーク津田レストラン「アクアベル」  
さぬき市津田町松原地内

【参加費】2500円(大人1人+子ども1人)  
追加料金1000円(1人追加につき大人でも子ども)

【持ち物】タオル・汚れてもいい服

【予約方法】<https://gamamaudon.peatix.com>



## 【参考資料】

### ■穴吹エンタープライズ株式会社(<http://www.anabuki-enter.jp>)

設立:1987年(昭和62年)7月22日 資本金:4,000万円 従業員数:約750名  
ホテル旅館事業、サービスエリア事業、公民連携事業などを香川県、徳島県、岡山県、兵庫県にて展開しております。「All Smiles(オールスマイル)」をスローガンに、施設の管理運営を通じて、地域社会の活性化や持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### ■国民宿舎じゃこ丸パーク津田(<https://q-p.anabuki-enter.jp/>)

香川県さぬき市津田町松原地内 TEL: 0879-42-2521  
瀬戸内海国立公園内、日本の渚百選にも選ばれている白砂青松の津田の松原に位置するリゾート施設。全室オーシャンフロントに加え、レストラン「アクアベル」からは、穏やかな瀬戸内海を間近に感じていただけます。



じゃこ丸パーク津田外観



レストランから見える瀬戸内海



じゃこ丸パーク津田前の砂浜

### ■柿崎麻莉子(かきざきまりこ)(<https://mari-kaki.amebaownd.com/>)

ダンサー・振付家。香川県三木町出身。日本ダンスフォーラム賞受賞。国内外で作品創作を続けている。オペラ、演劇、ファッションショーのステージングのほか、ミュージックビデオ、企業広告、企業イベントなどの出演・演出も手がける。これまでに、ミナパルホネン、ISSEY MIYAKE、資生堂、SHIRO、TOYOTA、DIOR、UNIQLOなどの案件に携わる。

2025年にさぬき市地域おこし協力隊として着任。2026年より「アーティストが本気でつくる親子のためのクリエイティブ空間 GAMAMA PARK」を展開し、よりコミュニティに近い形でアートと社会の接点を探る活動を進めている。2025年1月、3月、4月に実施したアート体験は、いずれも満員で好評を博した。



2026年1月開催「布×光」



2026年3月開催「布×光」



2026年4月開催「音×色」

### ■佐藤 公哉(さとうきみや)(<https://note.com/mahora/n/ncd99174551d6>)

音楽家、作曲家、歌手。長野県松本市を拠点に、2017年より活動している。映画音楽や舞台音楽の制作、即興パフォーマンス、地域に根ざしたプロジェクトなど、ジャンルを越えて幅広く活動。多彩な声の表現に加え、弦楽器や打楽器、鍵盤楽器なども演奏し、独自の音楽表現を追求している。ソロ活動のほか、バンド「表現(Hyogen)」、デュオ「3日満月」での活動を展開し、瀬戸内国際芸術祭や大阪万博でも作品を上演。子ども向けワークショップ「音のてらこや」や、プロジェクト「Torus Vil.」も主宰し、音を通じた体験や学びの場づくりにも取り組んでいる。東京藝術大学音楽環境創造科卒。



写真=Yuri Sakai

### ■このリリースに関するお問合せは

穴吹エンタープライズ株式会社  
レストエリア事業部 事業推進室 : 氏名 岩田 知子 (いわた ともこ)  
携帯.090-9559-6098  
E-mail: t-iwata@anabuki-enter.co.jp